

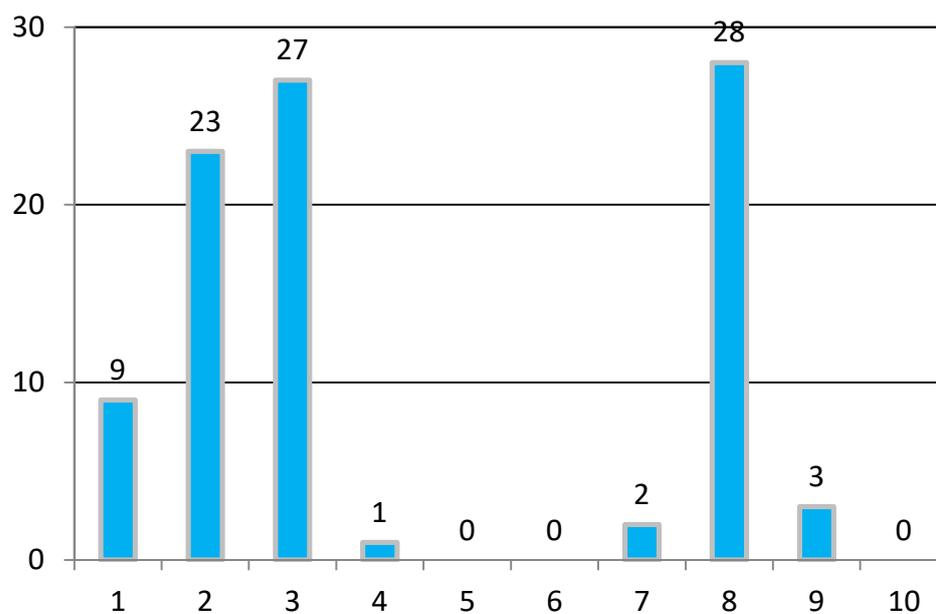
## H30年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/グラフ

### [1] 回答者数

MC1	81
MC2	4
DC1	1
DC2	4
DC3	1
DC4以上	2
PD	0
その他/教員など	0
未回答	1
計	94

### [2] あなたの所属を教えてください。

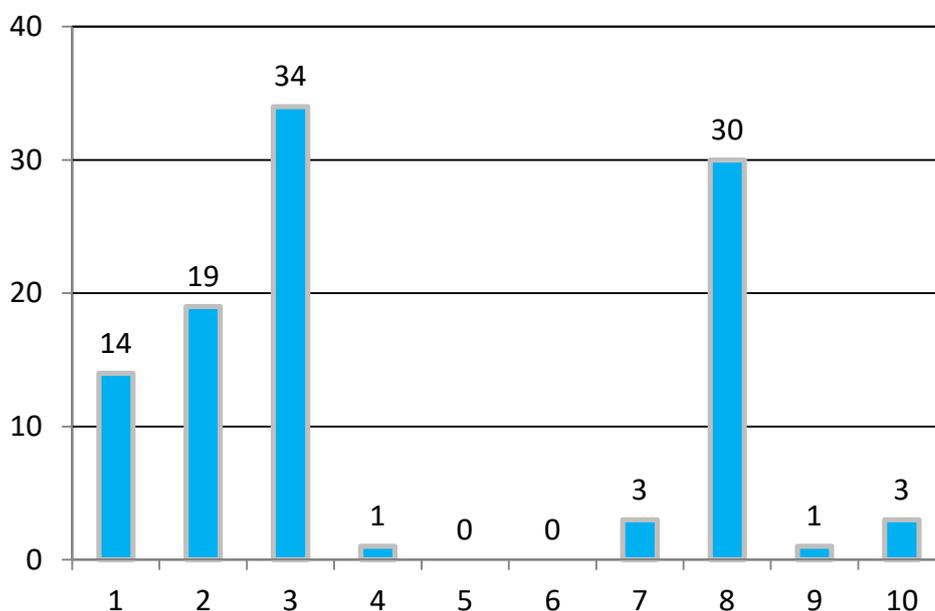
1.理学 2.生命科学 3.農学 4.工学 5.環境科学 6.情報科学 7.総合化学 8.水産科学 9.医学 10.その他



## H30年度 Advanced COSA (1) イマキク(リアルタイム投票)アンケート/グラフ

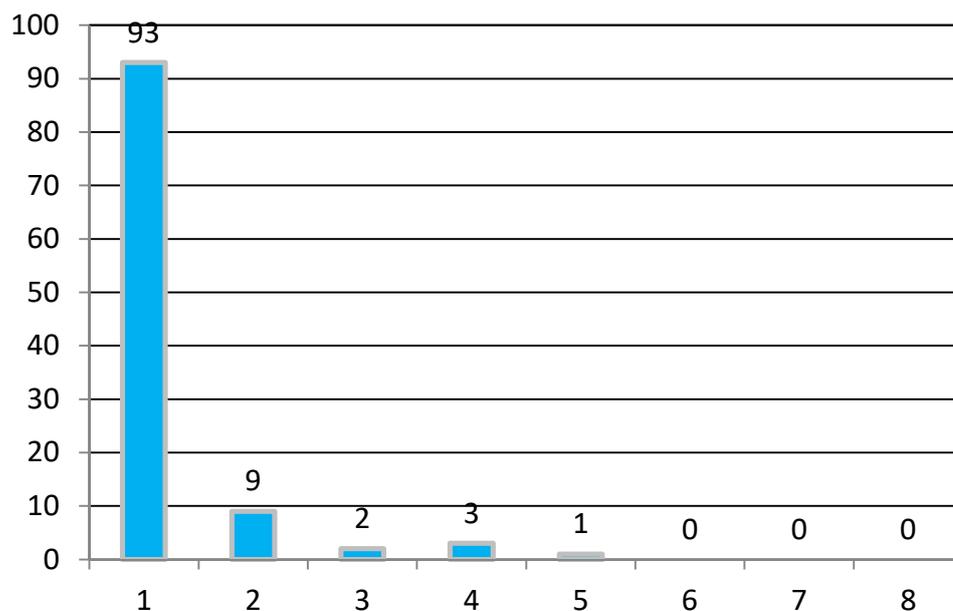
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学 2.生命科学 3.農学/国際食資源学 4.工学/医理工学 5.環境科学  
6.情報科学 7.総合化学 8.水産科学 9.医学 10.その他



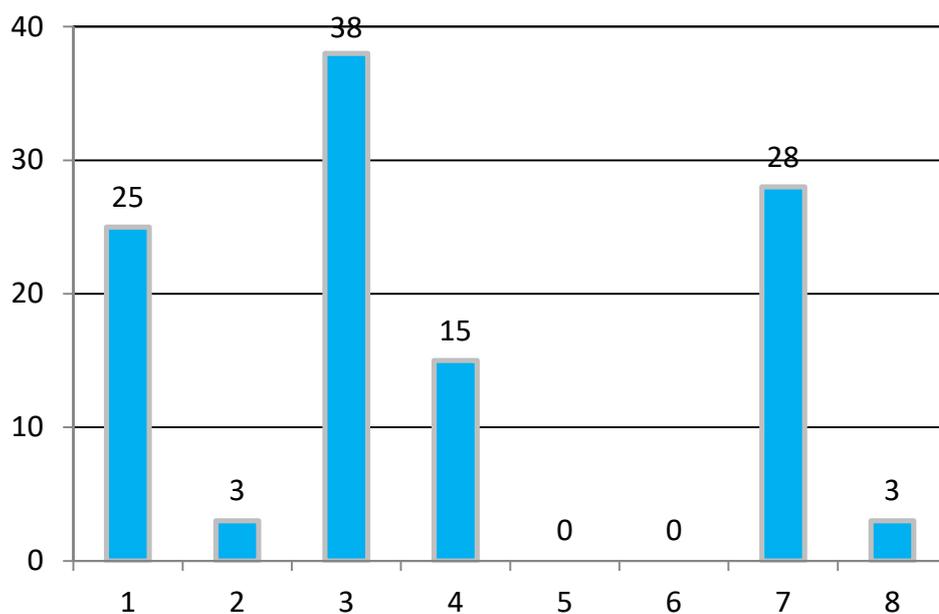
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



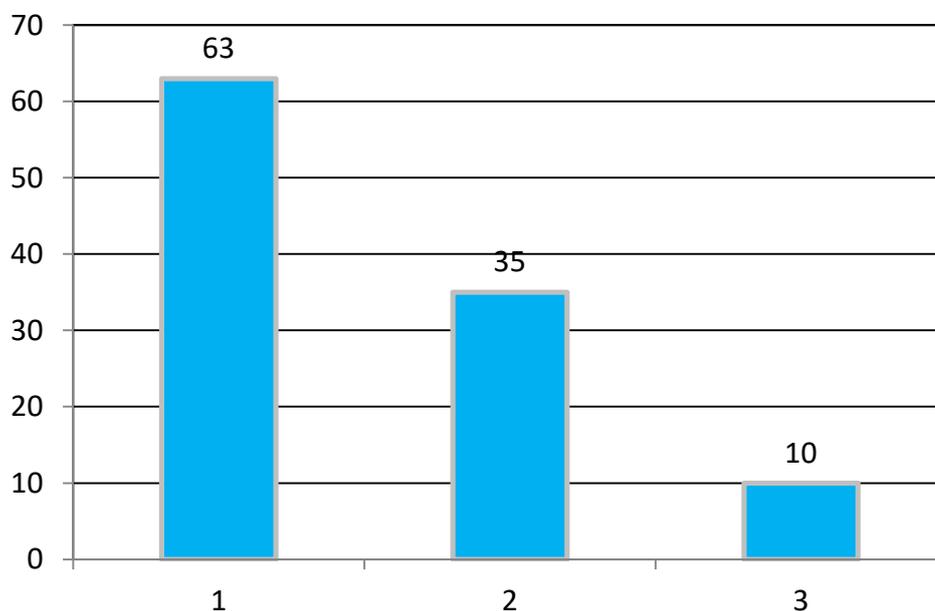
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



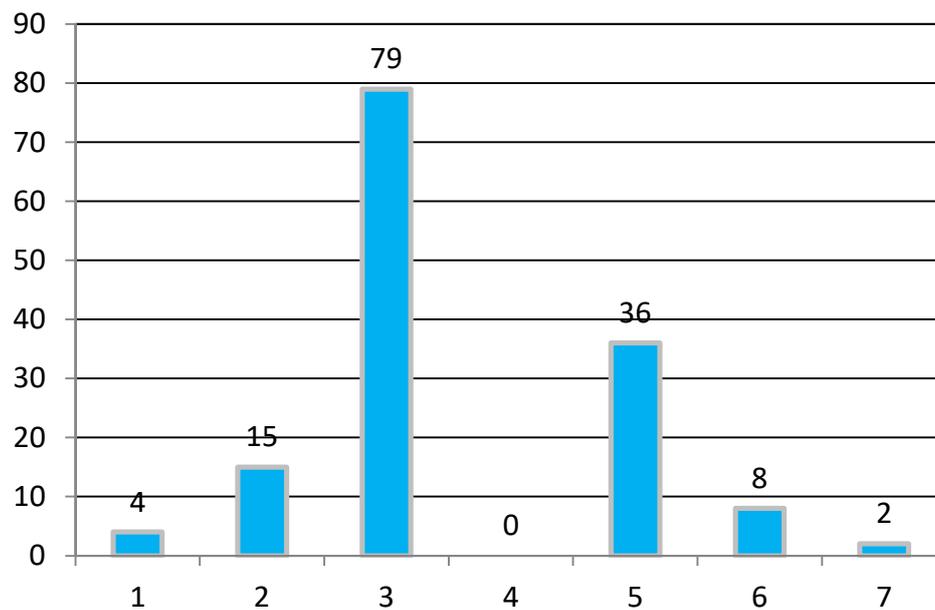
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



[5] どのような分野への就職を希望しますか？

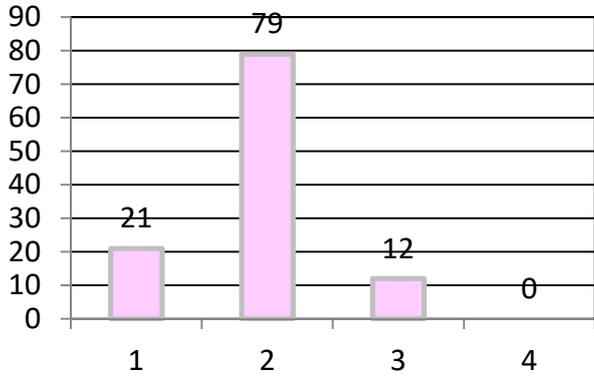
- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他  
6.今は考えていない 7.その他



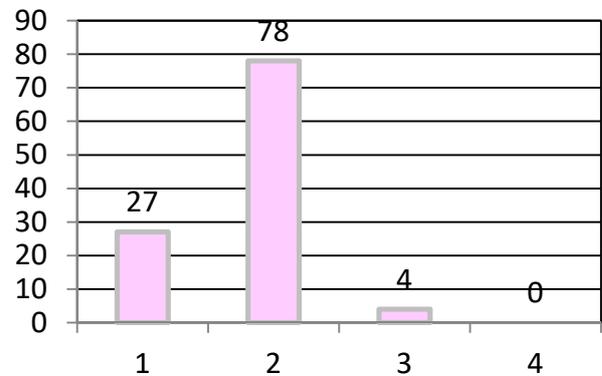
[6]どのような分野の企業に就職したいですか？

- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない

<受講前>



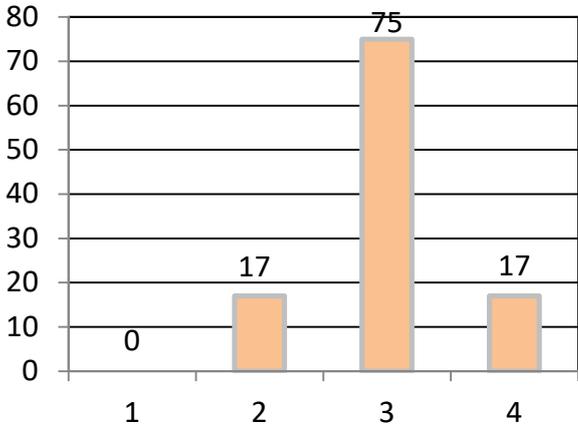
<受講後>



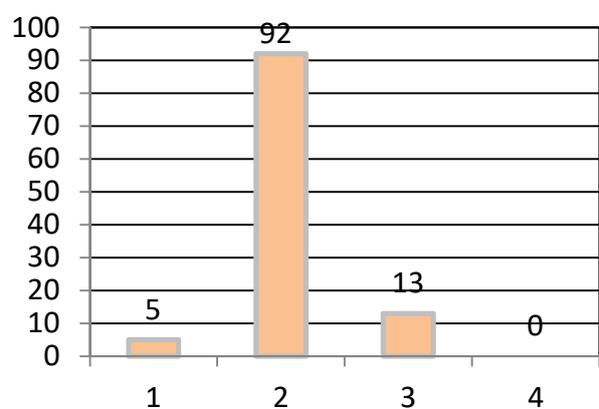
[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

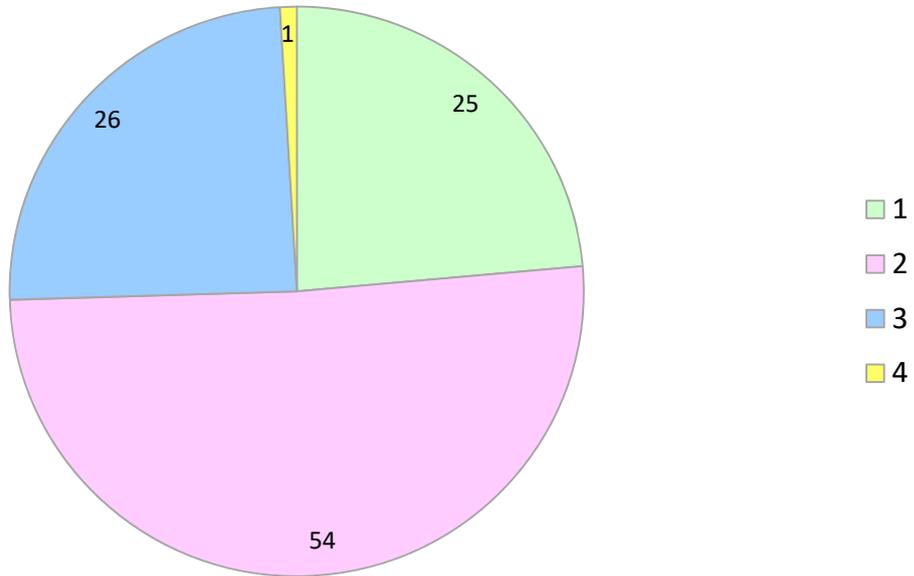


<受講後>



[8] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

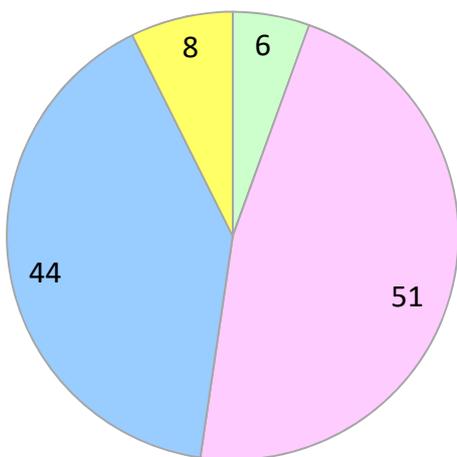
- 1.大変興味深くおもしろい
- 2.ある程度は興味を感じた
- 3.あまり興味がわかなかった
- 4.全く興味がわかなかった



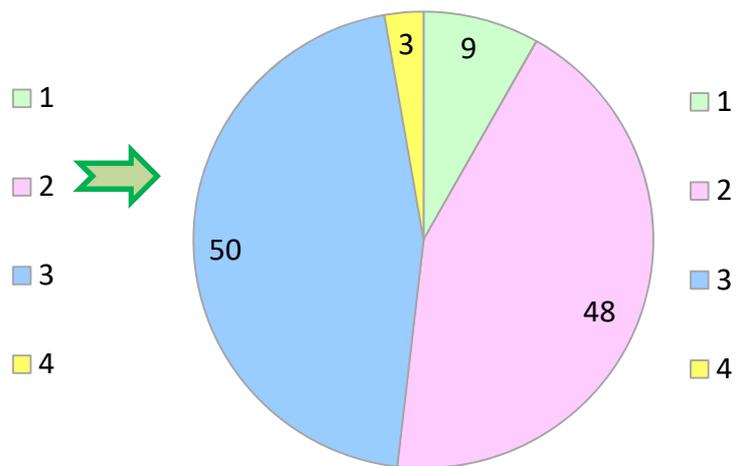
[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

- 1.あくまで自分の専門分野
- 2.科学技術分野なら何でも
- 3.事業やスタッフでもOK
- 4.科学技術系以外の業務を

<受講前>

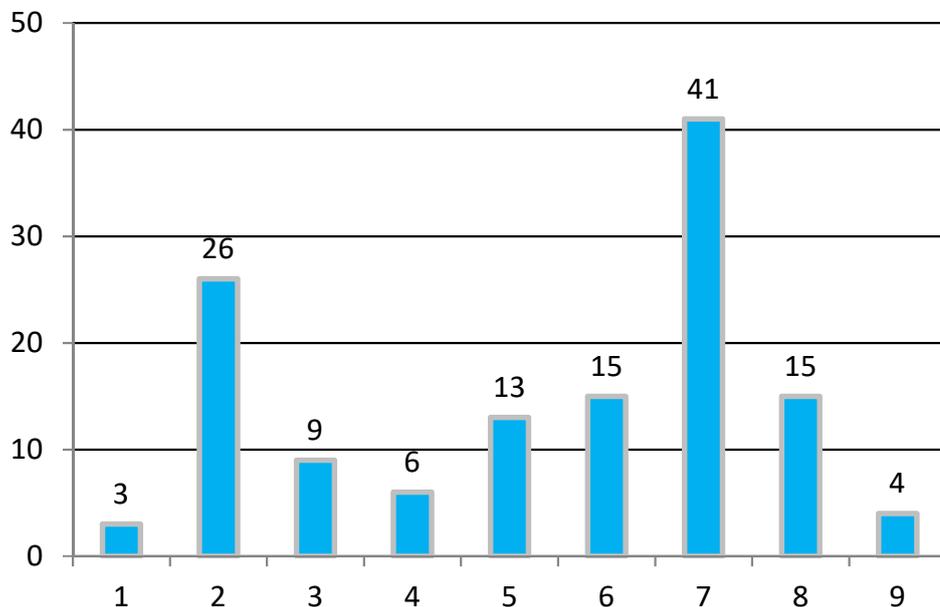


<受講後>



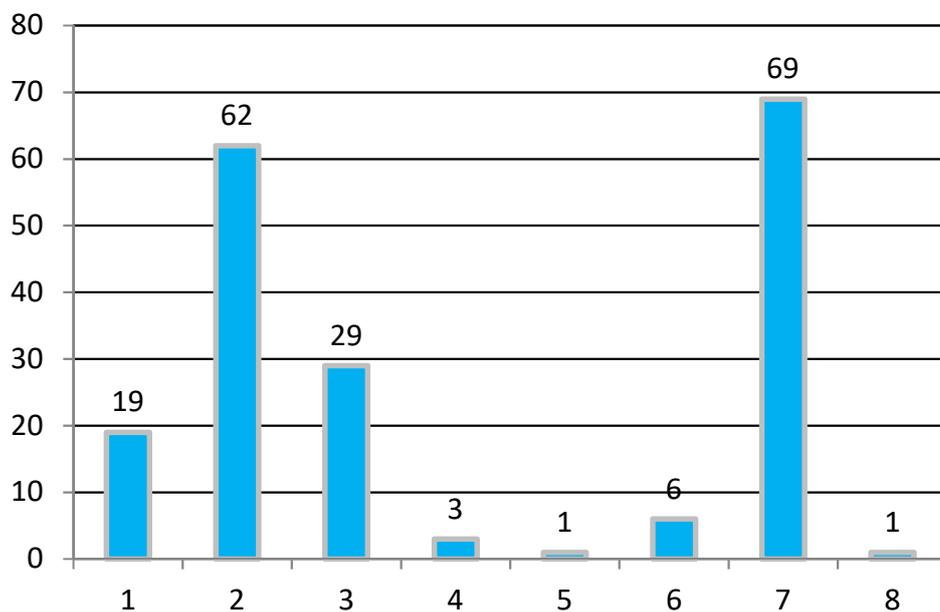
### [10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

- 1.教員からの情報 2.友人/知人情報 3.S-cubicのホームページ 4.S-cubicからのメール  
5.掲示板ポスター/ちらし 6.シラバス 7.大学院入学式ガイダンス 8.他の講義での紹介



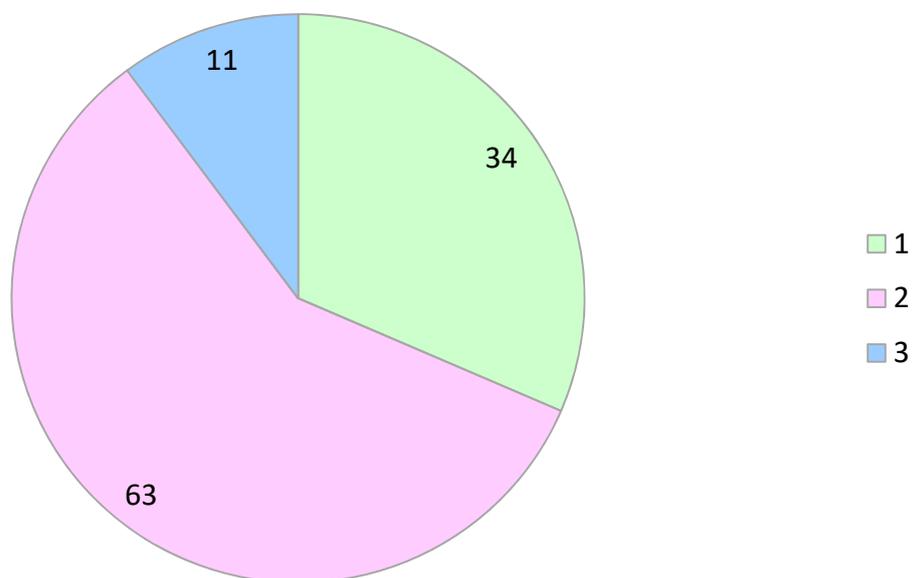
### [11] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業に参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい  
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



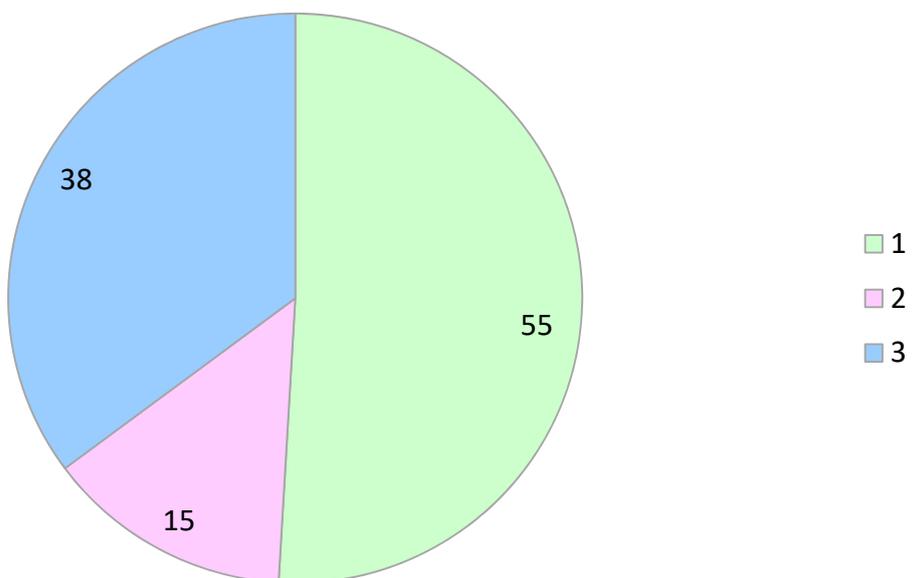
[12]A-COSAにまた参加したい？

1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



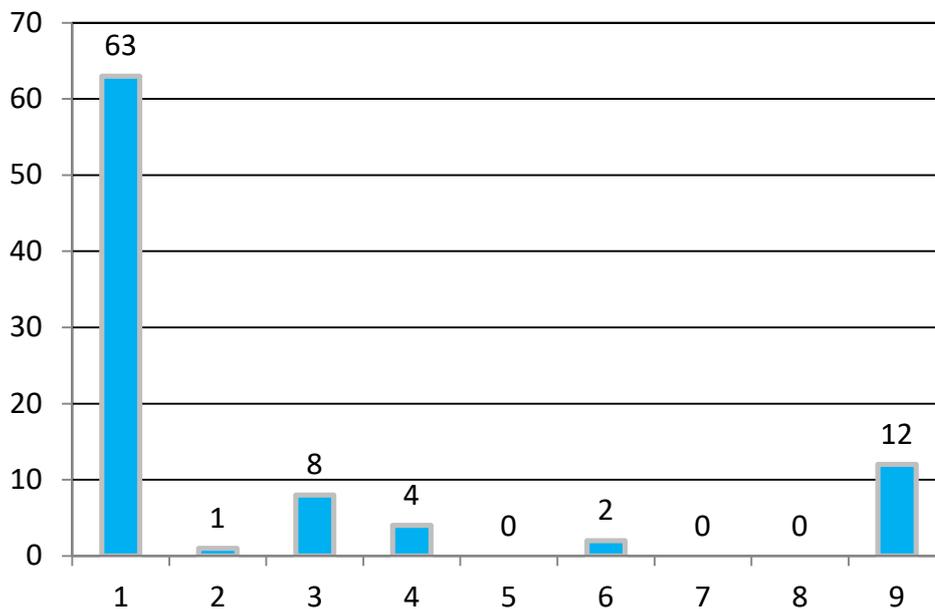
[13] このようなセミナーの開催希望日時は？

1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも



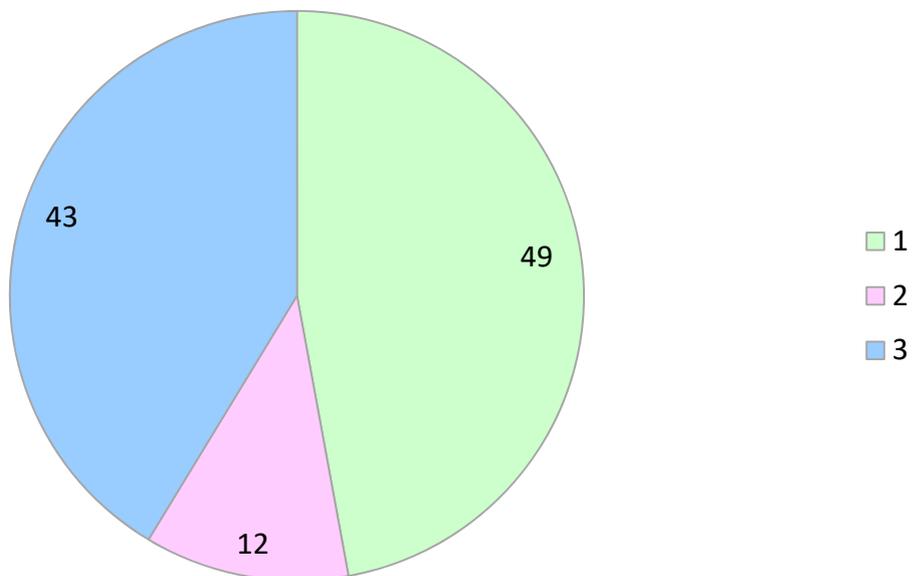
[14] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤  
8.フロンティア 9.その他



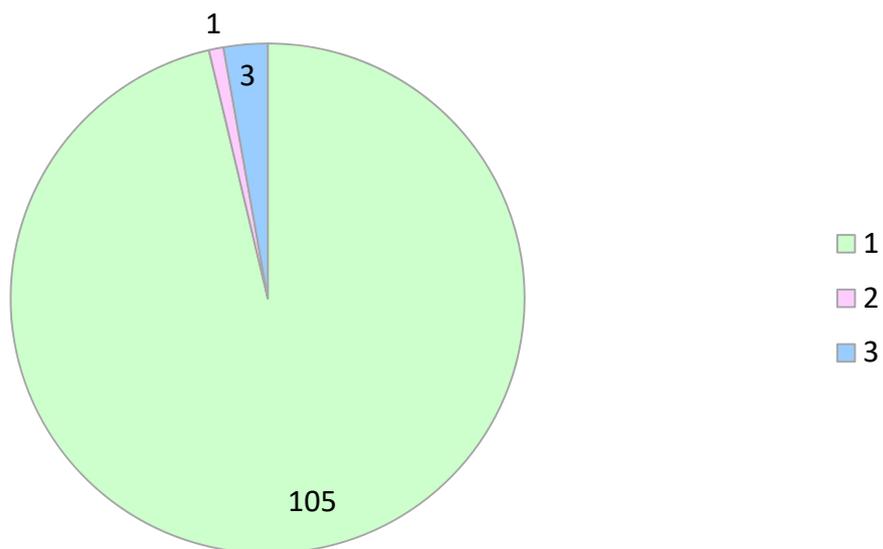
[15]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



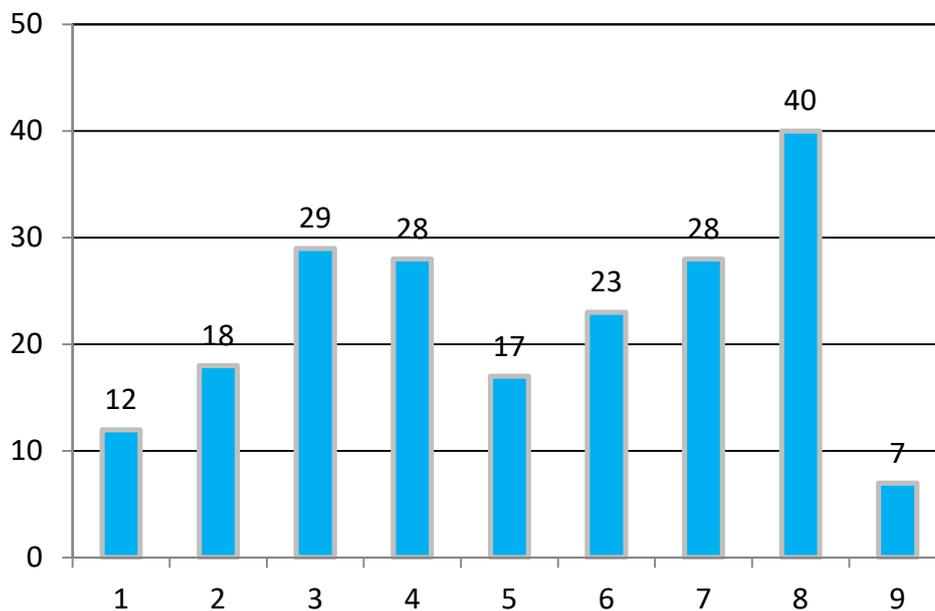
[16]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

- 1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー  
9.その他



### H30年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容
[1]講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	女性研究者のワークライフバランス。
2	下出さんの話で、海外では博士がないと話を聞いてもらえないということ、実体験で切実に話していたのが印象に残った。
3	様々な経歴を持った方のキャリア形成や物事に対する取り組み方や考え方を知ることができ、非常に良い刺激になった。また異分野へ参入した事例が参考になった。
4	皆さん口を揃えて「専門外の分野に如何に対応できるか」ということを重要視されていた。自分は現在の専門と仕事にしたい分野の関連性が薄いので非常に心強かったです。
5	企業の体制だけでなく、1人1人の研究者の方がどのように考えて仕事に臨んでいるか知ることが出来て良かったです。漠然と働かず、将来像を見据えていきたいです。
6	働く女性の話聞いたこと。
7	Ph. Dの需要が高まってきているのを感じ、今後の進路を考える上で参考になった。
8	海外では博士号がない人は研究者として認められない、ということが印象に残りました。実際の業務のお話を複数聞くことができて良かったです。
9	結構みなさんノリで生きていて希望が持てました。どんな分野でもチャレンジ、異分野でもなんとかなるということなんだろうが、コミュニケーションは積極的に取っていこうと思いました。
10	5人の講師の方の中でも考え方が違う部分、共通する部分がそれぞれあったことが印象的だった。
11	登壇された方々がみんな社会人になると時間のマネジメント力が必要になってくるということをお話されていて、今のうちから自立できるように努めようと思った。また下出さんがおっしゃっていた自己投資に時間を割けるのは学生の今のうちだということをお心にため、日々自己投資に勤しもうと思った。
12	多様な企業の事業内容が知れて視野が広がった。社会人になったら時間の使い方を工夫しなければならないことがわかったので、今から時間の使い方を参考にしていきたいと思った。
13	全講演者の話で共通していた自身の専攻とは異なる分野の勉強をすることの重要性を感じた。小川さんが講演で話されていた「リスクを取れ」という話が印象に残った。イノベーションを起こすためにはリスクを取ることもいとわない精神性が必要であることを再認識した。
14	講演していただいた全員が博士が必要、色々な分野に目を向ける、コミュニケーションをたくさんとると言っていたと思います。全員言っているということはたぶんど業界でも必要なことだと思うので、学生のうちに培っておこうと思いました。
15	製薬企業についてよく知ることが出来た。自分のやりたいことを大事にする必要を感じた。
16	各講師の方々の経歴やそのときの思い、現在の仕事内容まで赤裸々に語ってくださり参考になりました。特に今後の人生のために今意識した方がよいことをすべての講師の方から吸収することができました。また、印象に残ったのは企業で働くには時間のマネジメントをしっかりする必要があるということです。
17	アカデミアと企業の研究の違いが様々な業種の方の発表を通してよくわかりました。企業に行くと時間の使い方を学生以上に考えなくては行けないと痛感しました。

18	研究開発をする上では博士課程を卒業するのは必須条件であるということ。
19	アカデミアと企業の違いについてぼんやりとしたイメージしか持っていませんでしたが、より明確なイメージが得られたように思えますし、これからどうしていくべきかヒントももらえた気がします。
20	人生のモットーがすごくためになった。現地に行って直観力を身に付ける。やる前に具体的計画を立てて効率よくやる。時間の使い方、余暇の過ごし方や毎日が勉強だったり、自分に幸せな方、やりたいことを優先するなど、人生としての先輩の言葉はためになった。
21	新しい事業を始めるのにそれがうまくいくと説明できる能力が大切だということ。複数の専門性を持っている人材は望まれる。
22	研究・仕事のことだけでなく、生活面も含めて何を優先するべきかを考え、トータルキャリアを考えていく必要を感じました。
23	北大の3人の先輩方の経歴は多種多様で、自分の中のキャリア形成の固定概念が崩れたように思えます。
24	業種によってはPh. Dがなくても研究職につけるか、やはりPh. Dがあった方が色々と役立つ。関係ないと思っている業種でもマッチングする可能性がある。
25	女性研究者のキャリアパス。子育てと仕事の両立も出来るのだなと思った。
26	研究職を目指す場合には非常に役立つお話を聞くことが出来た。世界ではPh. Dが必須で日本も追従するという話だが、実際何年くらいでそれが浸透するのが気になった。→既に博士人材を採用する企業は増えていますが、採用の割合もここ5年で急速に伸びてきています。
27	昔の企業では、とても女性の働き方が縛られていて、なかなか好きなように身動きとれないと感じました。また、大手も時間内にいかに仕事を終わらせる労働生産性を重視し始めていて、うちのラボも見習ってほしいです。→そのとおりです！
28	レノバの小川さんのお話しが非常に残っています。技術者からエンジニアになり、それぞれの立場で求められるものについてもわかりやすく説明していただけました。自分も今後はその点を区別していきたいと思います。
29	各企業で働かれている方のこれまでの経緯を聞くことが出来て、企業で働くということを具体的に感じられました。また、考え方や信念もお聞きして自分の学生生活を見直してみたいと感じました。
30	修士卒は専門性よりも人間性やコミュニケーション能力が就職には必要と感じた。
31	1日目の坂東さんの女性研究者のキャリアパスのお話しや、2日目の宮脇さんの出産前後での1日の生活サイクルの変化等、とても興味深かったです。仕事と育児の両立は出来るということを知ることができ、とても励みになりました。また、「自分が何をしたら楽しいか、幸せか」という言葉がとても印象的でした。
32	5人の研究者に話を聞くことで、博士を取得するのも目的は様々だったり様々な考え方をを持った人がいることがわかった。
33	研究職にはPh. Dが重要。
34	講師の方々の経歴の中で専門にこだわらず、様々な仕事を経験していること。
35	坂東さんのお話。女性研究者の先輩たちが道を作ってくれたのだと思った。
36	実際に企業の人の話を聞いたり、質問したりする機会がなかったので、良い機会になった。時間の使い方など参考になることが多くあった。

37	様々なバックグラウンドを持つ講師の方がいて、卒業して一つの企業に勤めると決めつけず紆余曲折するのもありだと感じた。
38	多くの方が複数の分野を渡りながら活躍していること。
39	大日本住友製薬の坂東さんや大塚製薬の宮脇さんなどの製薬会社勤務の方のキャリア形成の話が一番印象に残りました。（製薬会社志望のため）
40	若手研究者のリアルなキャリアを知れて良かったです。
41	今後の人生、様々なことが起こりうると感じた。その中でチャンスを逃さなかった人が、今回講演して下さったのではと思った。
42	若手研究者の話
43	企業の研究はどういうことをしているか。直観力の重要性。キャリアを考えた上で共有することが大切なこと。
44	坂東さんの女性キャリア形成の話はすごく参考になった。荒川さんの1から研究を進めていく方法は参考になった。自分も試してみようと思った。
45	就職した後、スランプに陥った時にどのようにして乗り越えたのかが印象深かった。
46	講師の皆さんが5人ともPh.Dを取得されていたことが一番印象的でした。
47	皆さん時間を効率的に使うことを会社に入ってから意識されているとのことだった。大学とはそこが大きな違いと感じた。
48	修士・博士以降のキャリア、特に研究職の現状をよく知ることが出来た。研究職に就く以上、大学院に在籍する間にどのようなアクションを取れば良いかの参考になった。
49	自分の領域にこだわらず、他分野まで視野を広げるという話が一貫してあったのが印象的だった。
50	博士の重要性が研究職は高い。
51	専門外の研究の仕方が参考になった。
52	会社での時間の使い方やチャレンジ精神など現状の研究生活にいかせることが多く勉強になった。
53	研究職をやっていくためにドクターを取っておいた方が良いということ。
54	レノバや大日本住友製薬の講師の方のキャリアは講義を受ける前はかなり特殊なもので何の役に立つのかと思っていたけど、講演を聞くと、自分の意志を持って決断しているのすごかった。
55	時間の使い方。プロジェクト立ち上げ、進め方について。

56	昨今の研究職ではPh. Dを求められる場面、特に海外を相手にすることが多い。
57	あとからPh. Dを取るパターンがあることに驚いた。転職は敷居が高く感じていたが、結構多いのが意外に感じた。(博士だからでしょうか)
58	博士課程に進むことの大切さ。社会でのコミュニケーション能力の大切さ。
59	ご自身の専門と異なる研究をされている人が多くて意外でした。自分の専門にこだわらず、興味のもてる分野を見つけない。
60	実際に企業で働いている人のやる気が普通の人よりすごいと思った。
61	コミュニケーション能力や人脈、とにかくやってみることが大切だというお話が参考になりました。転職した方、出産後も同じ仕事を続けた方の両方をお呼びして頂いたのでお仕事への価値観も非常に参考になりました。
62	先輩方のキャリアパス。
63	小川先生の直感で決めるということ。坂東先生のキャリアパスを人に伝えるのが重要というメッセージ。
64	1日目の2人の講師のバイタリティの高さが非常に好印象でした。
65	大学の研究内容とは違うことをしていることが多い。
66	大学では時間がたくさんあり、質の高い物を作ることができるということを認識した。それと同時に社会に出た時の時間の使い方を学ぼうと思った。
67	博士から企業に就職された講師が多かったこと(2日目)。なかなか聞けないキャリアパスを聞くことができた。
68	大日本住友製薬について、入社後の若手教育が充実していること。
69	Ph. Dを取得することが海外でも研究活動していく上で重要という意見。また、社会人になってから取得することが困難であるという意見が目立ったと感じる。
70	Ph. Dを取得した多くの方々が異分野で活動なさっていることに驚いた。
71	ドクターの取得が研究開発を続けるうえでほぼ必須であるということ。現場を知ることがいかに重要であること。限られた時間を有効に活用し、着実に進歩すること。他にも様々なことを吸収でき良い刺激になった。
72	女性研究職の方々のライフイベントとキャリアアップの両立に関するリアルな話が印象に残った。
73	世間的に「こうあるべき」「こうしなければならない」といったものにとらわれていない人が多いという印象が強かったです。
74	博士は思っていたよりも研究職で求められているということ。

75	大学で行っていたことや学んだことを活かす職場に配属されず、1から勉強しなければならないという方が多かったのが印象的だった。そういう場合の割り切りの重要性について参考になった。また、多分野の勉強をするなど知識を幅広く吸収すること、コミュニケーション力についてほとんどの方が指摘されており、非常に印象深かった。
76	下出さんの講演や質疑応答は独特だが、人間味が出ていて楽しく気軽に聴けた。質疑応答の時間が長くて良かった。博士取得中の人、習得した人、いったん取得せずに就職した人など、様々なバックグラウンドを持つ人の話が聞けて有意義な時間だった。
77	専門外でも活躍している人が多かったのが印象的でした。
78	社内での生活や、研究職の雰囲気を知れて良かった。
79	まず講演していただいた方の中には転職している方も何人か見られ、終身雇用に限らない時世になってきたのかなと思った。いずれの講演者においても各々のやりたいこと、最終ゴールを持っていて、それを満たすために様々なアプローチが見られ、時間、タイミングにとらわれないことも重要だという印象を受けた。
80	会社でのリアルな話を聞くことができた。
81	自身の専門外での活躍が多いんだなと思った。
82	ここの部署にいたい！というのがあっても良いが、そこだけを経験すると視野を広げることが出来ない。他部署を経験することも非常に重要であることがわかった。博士に進んだからといって職がないわけではない。
83	異分野から就職した方や、再就職した方など人が豊富で様々なケースのお話を聞いたこと。
84	社会人と学生では研究の方針に違いがあること。ドクターの重要性を知ることが出来た。タイムスケジューリング能力の大切さを痛感した。もっと研究に専念すべきと思った。
85	博士課程修了者の就職も決して狭き門ということはないのだと印象に残った。
86	様々な業種の方々、年齢の異なる講師の方々のお話を聞くことが出来たこと。転職のきっかけやその時の思いを聞くことが出来たこと。異分野での活躍も見込めること。
87	研究開発職であっても、自身の専攻とは別の分野でも活躍している人はいると聞いて、研究開発職に興味がわきました。
88	合計5人の方の話を聞きましたが、どの方も大変な中でも頑張っておられて、自分も苦しいですが粘り強さを持たないといけないと感じました。
89	自分のやりたいことをするために再進学や転職をしたこと。
90	Ph. Dの重要性がわかった。大学と企業の違いに苦労しそうだと感じた。

[2] 今後、Advanced COSA (1) で講演してほしい講師の分野(企業/業種)を教えてください。

1	化粧品・食品・製薬
---	-----------

2	IT企業
3	スポーツ、食品
4	理系の方が自分の専門分野ではない文系の会社で活躍されている話も聞いてみたい。
5	食品、化学
6	製薬企業、食品企業
7	地球科学系
8	公的機関（衛生・保健系）、バイオ系企業
9	食品メーカー
10	水産コンサル、機械メーカー
11	レノバのような新しい企業、ベンチャー、商社
12	食品や飲料の分野に興味があります。
13	食品メーカーや商社、コンサル
14	業種問わず研究以外の職種の方のお話しも伺ってみたい。食品業界、教育業界の方の講演を聴かせていただきたいです。
15	富士フイルム、キャノン、日東電工等、電機系。食品研究開発部門。化学系企業。
16	種苗、香料メーカー、食品メーカー。博士号をとってなくても研究職で活躍されている人の講演が聞いてみたい。
17	専門分野外でわからないことも多くなるかもしれませんが、機械や情報系の話も聞いてみたいです。
18	食品系、農業系の企業の話を知りたい。国立研究所の人の話を聞いてみたい。ドクターをとって活躍しているすごい人の話もそうですが、修士で卒業して就職した人の話も聞いてみたいです。
19	ベンチャー企業。
20	自分の専攻関連になりますが半導体系企業、電子部品系（東京エレクトロン、東芝メモリ、村田製作所）。AIに関してそのハードも扱っていただきたいです。

21	精密、器具メーカー、計測器メーカー
22	食品メーカー、開発
23	食品関係
24	シスメックス
25	コンサルティング会社、ベンチャー企業、食品会社
26	レノバの会長の千本さんのお話を聞いてみたいと思った。KDDIの頃の話やレノバ立ち上げについてもお聞きしたいです。
27	食品系
28	食品系
29	食品系、化学メーカー
30	化粧品の研究者（基礎でも応用でも）
31	食品メーカー
32	製薬企業、プロセス化学
33	研究機関などの方の話も聞いてみたい。
34	製薬会社、化学メーカー（住友化学）
35	測定機器メーカー、音響メーカー
36	研究職の方が呼ばれているが開発職の方などの講演をしてほしい。
37	公務員の研究職から転職した人。
38	IT系、商社
39	コンサル（環境系）、公官庁、水産関連

40	理論系出身の博士の話。
41	商社、コンサルティングファーム
42	医療系、コンサル
43	公的機関や食品関係の企業の話が聞きたいと思いました。
44	自分は化粧品メーカーの研究開発のお話しが聞けたらとても嬉しく思います。
45	味の素の研究職
46	サービス業など、研究職とは大きく離れた職に就いた、理学・化学技術系の大学院を修了した人の話も聞いてみたい。大学院に進学してから身に付いた技能が役立っているかどうか。
47	食品
48	今回と同じような分野が良いです。
49	資生堂、ちふれ
50	化学メーカー
51	化学メーカーや化粧品会社
52	公務員
53	興味のない分野の話を知りたいです。（興味があれば自分で聞きに行くので）
54	ベンチャー、食品や畜産系、農業の公務員や独行、テレビ局
55	食品メーカー（乳業系、酒類系）。理系だったが文系就職した方、学生時代の研究に近いことをやっている方、まったく異なることをやっている方（対比を見たい）。
56	BtoB企業/食品。
57	化学メーカー、化粧品メーカーの研究職。
58	食品メーカー

59	食品業界について聞いてみたいです。
60	薬以外の分野。
61	化学企業（三井化学、住友など）、公務員（国家）
62	化学メーカー
63	花王、資生堂
64	山田養蜂場
65	Amazon（流通）、Google
66	食品、飲料（サントリー、明治、森永乳業）
67	食品系の研究職の方。
68	酒造メーカー
69	農薬や食品添加物など、食の安全性に関わる企業。医薬品とはまた違った安全性への理解が求められていると思います。特にマーケティング、営業部門の方のお話を伺いたい。
70	海洋技術開発。観光。
71	民間の人が多かったので公務員と民間を両方経験した人の話も聞いてみたかったです。
72	研究職に逆に行かなかった方。分野は問わない。
73	今後発展していくと言われている食品系の業種の方に講演して欲しい（DCの方が少ないことは承知した上で出来ればお願いしたいです）。
74	分野というわけではないが、博士卒ではなく、（取得中も含め）修士卒の人の話しも聞けたら自分の中で比較が出来るし、色々なキャリアを思い描けると感じた。分野は問いません。
75	食品業界、化粧品業界の研究開発職の講演を聴きたいです。
76	食品関係の方の講演を聞きたい。またA-COSAIに求めることではないかもしれないが、研究部門以外の方のお話しも聞けたらなど。少ないorいないかもしれないが研究部⇒他部門あるいはその逆を経験した人がいるならそういった話も聞いてみたい。
77	サービス業、金融業。

78	行政
79	食品系の企業（カゴメ、キューピー、ハウス）。研究職だけでなく、営業や企画の話も聞きたい。
80	サイエンスライター（日経など）
81	富士フイルム、Google、ニコン
82	理系研究職から外れるが、出版に興味があるのでお話しを聞いてみたい。食品系の研究職の方の話も聞いてみたいです。
83	生態学、環境系。公務員を経て民間企業もしくは民間企業を経て公務員等。
84	商社やメディア、広告業界の講師が良いです。普段関わる機会が少ないので。
85	水産研究
86	食品系

[3]Advanced COSA (1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

1	議論の時間が長くてとてもためになった。
2	全体として参考になることが多く、非常に有益な時間であった。
3	博士の方々が仕事の堅い話だけでなく、私生活のことなども含めて話してもらえて飽きることなく長時間話を聞いた。
4	貴重なお話しが聞けて、参加して良かったと思いました。ただ、懇親会は全日程が終わってからのの方が話を聞きやすいなと思いました。→よく聞く意見ですが、これだけの方を最後まで拘束することは社会通念上、無理です。それなりの立場の方々ですので、北大までかなり無理をして来ていただいています。そのあたりの状況を推量する心の広さを育成してください。
5	だいたいの方が修士卒⇒就職⇒博士というルートなのだなあと・・・ここに集まった人がたまたまなのか、それともそういう人をひっぱってきているのかと思いました。
6	とても興味深く、色々な人、業種の話聞いて良かった。
7	様々な分野の話が聞けて興味の幅が広がった。

8	せっかく社会人と交流する機会があるのだから、水産生にも機会を与えてほしい。→そうですね、でもそのためには函館で開催する必要があり、現状では難しいです。本講義はもともと理学院で開始され、それが全学展開したもので、札幌での開催が基本となります。
9	企業の秘密等もろもろの事情はあると思うが、可能な範囲でスライドのデータを配布して欲しいと思った。
10	今まで進路関係のイベントに参加したことがあまりなかったため、とても良い機会でした。あと半年もしたら就活がスタートするので参考にしたいです。
11	質問時間が少し長すぎると感じた。
12	集中講義として長い時間をかけて各講師の方のお話を深く掘り下げて聞かせていただけたのは、あまり他にはない機会でした。
13	質問もwebで行えるようにしてもいいのではと思いました。事前に質問を募集し、それを発表内容に反映させるといいと思いました。
14	非常に興味深く、今後活かせそうな内容ばかりでした。自分の専門分野の研究を将来したいと考えていましたが、多分野の研究をするのもアリなのではないかと思いました。むしろ多分野で新たな知見を得たいと思いました。
15	周囲にいる博士課程の人は限られており、さらに博士課程を出て働いている方の話を聞いたのは初めてだったため、貴重な機会を得られたと思います。ただ、会社の内容よりもその人の考え方をもっと知りたいと思いました。
16	博士をとって企業で働く具体的な話が聞いて良かった。英語力に自信がなく、ドクターに行くのにも自信がなく、踏ん切りがつかなかったのですが、まだ時間があるので勉強する気になりました。ポジティブに頑張ってみます。
17	博士を取る利点が良く分かった。悩んでいる時期からの抜け出し方の例を知れたので参考にしたい。
18	研究、仕事のみならず、ワークライフ全体まで把握できてよかったです。
19	普通に大学院生活を送っていたら聞けないことを聞くことができ、単位ももらえるためとてもよい機会だった。就職について考えるきっかけとなった。
20	満足です。
21	バイオ系は就職が大変だと思っていましたが、様々な企業から必要とされているのを知りました。しかしバイオ系と一言で行っても幅が広いので、自分の持つ技術が社会で使えるのか、必要とされるのかは不明だし、不安です。正直言えば使えないし、誰にでも出来ることと思っています。もっと具体的な必要とされる人材像が知りたいです。
22	質問を紙で提出するやり方はとても気軽に質問を聞きやすかったです。授業もあるため90分1タームで講演が出来たらより参加しやすいと思います。

23	博士卒の方しかいなかったなので、修士卒の方の話も聞きたいです。
24	分野の偏りが強いように感じました。最初のアンケートで農・水産の学生が多かったと思うのですが、そこも考慮して分野を選んでいただくとより参考になると思います。また、博士進学を推しているということで全員博士号を持たれていましたが、修士卒の方も1人くらいいても良いのではと感じました。
25	博士卒の人の講演を聞いて、修士卒に比べて専門を活かした職に就ける、海外事業で活躍できる（博士号を取っていないと信頼されない）というメリットがあると感じた。対して、修士卒の方が仕事を選ぶ自由度が高い印象を受けた。
26	他分野のお話をここまで深く聞く機会が今まであまりなかったので、とても興味深かったです。自身の今後について改めて考えを深めていきたいです。
27	企業に入る前に博士を取るよりも、入ってから関わった分野について博士を取った方が勉強の負担面でも良いのでは？と思った。時間的負担が軽いという理由以外に就職前に博士をとるメリットが知りたい。→皆さんの話を聞いていましたか？入社後に博士を取るのは以前に比べて大変難しくなっているんですよ。
28	自分の将来を考える良い機会となりました。
29	修士の人の話も聞けたら比較でき、参考になりそうだと思う。
30	質疑応答の時間が長く様々なことが聞けて良かった。
31	人生観や経歴の話が充実していて、具体的なプロジェクトや〇×研と共同でやってます等の理解できない話を聞かされるより良かった（学生のモチベーションになる）。
32	とても有意義な話を聞くことができました。
33	理系としてのキャリアの積み方についての企画だと思っていたが、事業紹介の面が大きくあった。もちろん参考にはなったが企画趣旨がもうすこしわかり易いとよかった。
34	就職後に博士を取得した方と、博士号を取得した上で就職した方両者のバランスがもう少し取れているとよかったかなと感じました。若手先輩の話も多く聞いたのは良かったです。
35	若手の人の話を聞く機会がもっと増えれば良いと思いました。
36	企業の研究職はどういう研究をしているのかわかったのが良かった。
37	博士の人はすごい人ばかりで優秀だった。

38	少し時間設定が厳しく感じました。
39	質問票を用いて質疑応答を行うシステムがとても効率的で良いと感じました。懇親会も出れて貴重なお話を聞けました。ありがとうございました。
40	社会人ドクターの人の話を聞きたかったので聞けてよかった。
41	MCを修了して社会人でも結局博士号を取らなかった人物のケースも聞いてみたい。(目的とは全く異なってしまおうとは思いますが・・・) MCで社会人になった人が全員DCに入り直したかというところではないと思うので。
42	修士の人の話も聞きたいです。
43	朝早いのが辛い。→それでは企業就職できません！
44	アカデミアの人としか関わったことがなかったので、企業の考えを知ることができ有意義である。
45	全員ドクターを取られている方だったので、修士卒で研究職をやっている方の話も聴きたかったです。
46	今までに聞いたことのないような話が聞けたので良かった。今までぼんやりとしか研究開発のイメージがわからなかったけど、ある程度理解できたので良かった。
47	若くして起業した人、ベンチャーを狙って就職した人もっと具体的なテーマがあっても良い。
48	どなたかの質問にもあがったが、博士至上主義をまざまざと見せつけられた気がした。人材育成本部のイベントである以上、十分予見できたはずだが、修士卒向けのイベントがあればと感じた。
49	社会で研究者として活躍する厳しさを感じました。将来が不安です。
50	勉強になった。
51	同じ建設系、製薬系でも会社によっても全く方針が違って、おもしろいと思いました。比較することで見えてくることもあったので、非常に良い機会になりました。
52	講演時間を少し短くした方が、集中力を保てるように感じた。→シラバス構成上、これしかないのです・・・。

53	とてもおもしろかった。講演の人の質疑応答がすごかった。
54	研究職は視野になかったが、もう一度考えてみようと思った。
55	講師の方々の説明が企業紹介とキャリアパスの説明にわかれていて聞きやすかった。一日目の講義は1講師あたり2h×2だったが、もう少し短くしても良いと感じた。
56	有意義でした。
57	今後の進路を考える上で非常に良い機会になったと感じている。特に修士と博士の企業側から見た違い、異分野の研究をするにあたって考えることを知ることが出来た。
58	今後のキャリア形成の参考となった。
59	様々な経歴を持つ方が、自身の経験に基づいたお話を聞いて良かった。普段研究に追われ、将来のキャリアパスについて考える機会が少ないので、どっぷりのめりこんで考える時間となった。今後も継続して欲しい。
60	製薬会社、建設会社について、（やっていることはそれぞれ違うとしても）企業が何となく被っているように感じた。
61	1日で3人分は研究日程的に辛いので、隔週の授業に分担して欲しいです。→講師の方のスケジュールを最優先すると、この方式しか取れません、ご了承を。
62	普段の講演に比べて質疑応答の時間が長く、さらに深く理解できたので良かった。
63	聞こえづらいことがある。
64	講師の方々がそれぞれ自分の経歴を詳しく話して下さったので大変参考になりました。
65	ある程度様々な分野の企業の方の話の聞けるのは良かった。
66	大変参考になりました。
67	参考になった。

68	研究開発以外の立場の方の話も聴きたい。若手の方のお話を聞けるのは良い。どのように就職したかの話をもっと聞きたい。
69	修士の人間が多いので、博士卒の研究者ではなく、修士卒の研究者の話を伺いたい。ドクターに行ってから、研究職がベスト、というのはみんなわかっているが、経済的な事情などで困難な人は多い。
70	キャリアを積んできた人、若手の人の話が聞けて興味深かったです。
71	キャリアパス形成とのことだったので、（自身が興味を持っている業種に近いものがなかったこともあるが）各企業の詳しい業務内容よりは、自身が思い描いてきたキャリアパス形成や大きな転機を迎えることになったきっかけなどをより詳しく知りたかった。
72	質疑応答の時間をもう少しコンパクトにしても良いと感じました。
73	どの方も親切に説明してくださって、わかり易かったです。
74	すでに修士2年であるが、企業に入社したのち、様々な分野の事にチャレンジできそうで参考になった。
75	もう少し幅広い企業であったり、人選であればもっと有効である気がした。

#### [4] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。

1	このような機会を設けていただきありがとうございました。
2	修士が博士課程に行く前提で就活できる赤い糸会的なものがあると安心して博士に行けるのになあと感じました。→やろうと思えばできますが、倫理憲章にひっかかり、企業側が参加に難色を示すのです、残念ながら。
3	修士卒で社会に出られた方のお話でも聞いてみたいと思います。
4	将来何がしたいかわからない人がたくさんいると思うので、様々なバックグラウンドを持つ様々な職種の人の話を聞く機会があると嬉しいです。
5	1時間の質問タイムは非常に良かったです。参加者の専攻分野が出来ればバランスよくなれば良いなと思いました。
6	AdvancedCOSA (2) も楽しみにしています。
7	企業によって研究へのスタンスや制度/仕組みが異なることを実感できて、とても勉強になった。これがHP等でわかればとても便利だと思うのでまとめたサイトが出来たら参考にしたい人は多いと思う。
8	いつもありがとうございます。

9	セミナーが多く単位化されれば嬉しいなと思いました。
10	このような講演会を集中講義等の形でもっと単位化してくれると非常に聴きに行きやすいのでありがたい（単位にならないと研究室の用事を優先しなければならないため）。またキャリアマネジメントセミナーを後期にも開講してくれると（必須のゼミと重なる等で）前期に行けなかった人も受講できるのでありがたい。→しんどい！
11	修士卒の方を紹介するイベントは人材育成本部の専門外なのだが、出来ればやってほしい。
12	奨学金の免除があるのでもう少し成績を甘く付けてほしいです。バイオ産業とA-COSAは成績の付け方が厳しいです。
13	貴重な経験を得ることができました。ありがとうございました。またこのような機会を設けていただけると非常にありがたいです。
14	函館キャンパスにも実際に講師の方に来ていただいて、セミナーを開催して欲しい。映像のみと実際面と向かってではかなり感覚が違うと思います。
15	履修登録の際ご迷惑おかけしてしまい、申し訳ありませんでした。
16	研究開発職の業務について、具体的に動画や画像を用いて紹介していただけるような講義があるといいなと思います。